

図書館通信

No.3 令和5年1月27日(金) 松山学院高等学校 管理部 図書・研修課 題字 田中由美 先生

三学期になりました

本年も 図書館をよろしく お願い 致します。

本の紹介

窪田 知佐子 先生

アーモンド ソノウオンピョン 著
矢島 暁子 訳
祥伝社



「扁桃体が人より小さく、喜怒哀楽などを感じることができない
ユンジは、祖母と母親が事件に遭った時も黙って見ている
だけだった。ひとりぼっちになったユンジは、激しい感情を持つ
ゴニと出会い、人生が大きく変わっていく。」
2020年 本屋大賞 翻訳小説部門第1位。
高校生ユンジを取り巻く人々の物語。他者を思う気持ちについて
深く考えさせられます。ぜひ高校生に読んでほしい一冊です。
読みだしたら、一気に読み進めてしまいます!



(各カット 調理科 3年 大石 あかり)

*扁桃体は、両方の眼球の奥の辺りにある、アーモンドに似た形をした、感情をつかさどる動きをする器官です。良質の睡眠のために必要なホルモンとも関係の深いものです。



図書委員の小部屋

図書委員さんに、気になっているものと、きっかけになった本を紹介してもらいました。他にも関わる本を紹介します。

ベニクラゲ

花クラゲ目、ベニクラゲ科、ベニクラゲ属



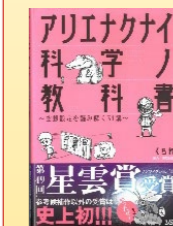
- ・直径 4 - 10 mm
- ・ベル型で傘の直径と高さはほぼ等しい。

通常の発生と分化転換を繰り返すことにより無限の寿命を持ち得るとされ「不老不死のクラゲ」と称される場合もある。

(普通科 1年 村上 優奈)

アリエナクナイ科学ノ教科書 ～空想設定を読み解く31講～ くられ 著 協力 薬理図書 (ソシム)

第1章「ヒトの空想を科学する」第1講「不老不死」では、人間以外の生き物の不老不死としてベニクラゲを扱



い、人間への応用も考察されています。

日本のSF賞として歴史のある、第49回星雲賞ノンフィクション部門受賞作です。

かこさとし 大自然のふしぎえほん クラゲのふしぎびっくりばなし かこさとし 著 (小峰書店)

クラゲのしんせきはなんだろう。



幅広く深い知識、綿密で丁寧な下調べに基づく「かわ」等の科学絵本をはじめ、定評を持つ作品の多い著者の「クラゲ」の本です。

世界で一番美しいクラゲ図鑑 海中を優美に浮遊する神秘的な生態 (著作・編集) 水口 博也、戸篠 祥 (ネイチャー・ミュージアム) ムック



著者・編者の他にダイバーたちが夜の海で撮影した、学術的にも意味のある写真が収められています。研究者たちからの寄稿もあわせて、見応えのある写真集であり、読んでも楽しい図鑑です。

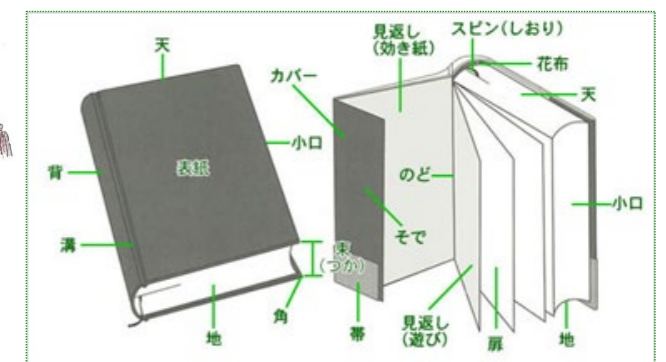
*ベニクラゲは、強いストレス等の生命の危機を感じると、「ポリプ」という幼体に戻ります。いわゆるクローンで、このことを「若返り」と呼ばれます。

「本」の部位の呼び方

本にも各部分に名前があります。

背表紙以外のところは「小口」、表紙と本体を結ぶところを「のど」と呼びます。

生き物も、口の奥には咽喉があります。生き物でも本でも、「のど」は大事なところ。のどが切れると本の形が保てなくて、バラバラになってしまいます。無理にページを開け過ぎないで、両手で大切に持って読むと長持ちします。



「新潮社の自費出版 本づくりの基礎知識」
新潮社ホームページ 参照

編集者のつぶやき 扁桃体もベニクラゲも、現代を生きる私たちに、ヒントを与えてくれる存在なのかも知れません。皆さんの心のよりどころに、図書館もなれますように。♡ ちょっとした時に立ち寄りてみてね。